



年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、日頃より厚いご支援ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。
また、関係機関の皆様からは、変わらぬご指導を賜り誠にありがとうございます。
昨年、当協会では台湾、タイ、シンガポール、中国、ミャンマー、フランスなどで事業を実施しましたが、今年も会員の皆様と一丸となり、本県の一層の貿易促進のため、アジアを中心に各地において、積極的に取り組みを展開してまいります。
皆様にとりまして、明るく、期待の持てる一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

一般社団法人秋田県貿易促進協会
会長 齊藤 健悦



フランス・パリで川連漆器、味噌・醤油をPR

ジャパンブランド海外販路開拓事業

平成29年10月28日～11月6日

フランス・パリでの販路開拓事業の一環として、10月28日から11月6日の日程で（有）石孫本店、秋田県漆器工業協同組合とともに現地を訪問しました。

今回はそれぞれの参加者がパリでの販路開拓を目的として開発を進めている新商品の展示、紹介をメインとしたPR活動を実施しました。

味噌と醤油の醸造元である（有）石孫本店は、パリのお好み焼き店「OKOMUSU（オコムス）」を会場として、自社製品を使用した料理を提供する試食会を開催しました。試食会には自由に参加できるため、現地一般消費者の生の声を確認することができました。また、現地のチョコレートショップ「Les 3 chocolats（レ・トロワ・ショコラ）」の代表であり、ショコラティエでもある佐野恵美子氏には味噌・醤油を使用した菓子の製作を委託、そのお披露目をおこない、こちらもたいへん好評でした。

秋田県漆器工業協同組合は、パリ向けの食器セット一式を開発し、パリでミシュランの一つ星を獲得している寿司店「J I N（じん）」において、それらの漆器の試用調査をおこないました。コース料理の盛りつけのほとんどに川連漆器を使用したランチ会では、現地の有識者としてジェトロパリの片岡進所長、有名磁器ブランド「ベルナルド」のミシェル・ベルナルド社長をはじめ、輸入業者やレストラン関係者、マスコミ関係等を招待し、実際に使用しながら漆器の使用感やパリでの展開方法などについて意見交換をおこないました。

秋田県漆器工業協同組合については、1月末にパリ日本文化会館において、実際に川連漆器の絵付けなどを体験できるワークショップの開催も予定しています。それにより川連漆器をはじめとした秋田県の伝統的な文化や特産品に関心を持っていただける方がますます増え、販路の拡大に繋がっていく

ことを期待しています。

今回の成果をもとに、来年度以降も引き続きパリでの展開に向けたサポートを続けていきたいと考えています。



▲お好み焼き屋「OKOMUSU」で開催した味噌・醤油の試食イベント



▲パリで活躍する若手パティシエによる味噌と醤油を使ったスイーツ



◀ ミシュラン一つ星寿司店「仁」で開催した川連漆器のPRイベント



◀ 川連漆器の盛り板に置かれた握り寿司

海外で実施した県産品フェア



シンガポール 秋田県メニューフェアの開催

平成29年11月1日～11月30日

11月、シンガポールの日本料理店3店舗において、秋田県産食材を使用した秋田県メニューフェアを1ヶ月間開催しました。



▲ メニューの一部

会場となった日本料理店「厨ダイニング」「炭屋」「あみ網」はすべてRE&S Enterprises社が運営するレストランであり、同社はシンガポール国内で高級和食から、カジュアルダイニング、テイクアウト品まで幅広く、約70店舗を運営しています。

今回のフェアは6月に秋田市で開催したバイヤー招聘商談会の成果を受けて実施したもので、同社レストラングループの総料理長である都築直樹氏が選定した商品を、独自のアレンジでメニュー化し、実際に店舗の期間限定メニューとして販売することで現地顧客の反応を調査しました。

シンガポールではもともと麺料理の人気の高いということもあり、ラーメンや稲庭うどんはたいへん好評でフェア後も通常メニューへの採用が決まりました。

またハタハタやバッケといった秋田ならではの食材も他の食材との組み合わせや現地向けにアレンジを加えることで、単品で紹介するよりも高い評価を得ました。都築料理長からは、秋田の食材は種類が豊富で、可能性のあるものもたくさんあると評価されました。

今後も引き続きシンガポールに向けた秋田県産品のPRを実施していきます。



▲ ハタハタとバッケ味噌の稲庭うどん



タイ・バンコク ご当地うどんフェアの開催

平成29年10月29日～11月8日

10月29日～11月8日の11日間、東南アジア最大の規模を誇るショッピングモール「サイアム・パラゴン」において、うどんフェアを開催しました。

「サイアム・パラゴン」は、アクセスもBTS（高架鉄道）サイアム駅に直結しており、海外で名の通った高級ファッションブランドをはじめ、水族館、映画館、そして世界各国の料理を取りそろえたレストランなど、バンコクで一二を争う人気と集客力を持っています。

この会場での開催は昨年に続き二回目、秋田県稲庭うどんと山形県うどん・蕎麦の産地間連携のもと販路開拓を目指し販売促進活動をおこないました。タイ・バンコクは麺をよく食べる地域であり、日本のラーメン特にとんこつ味は人気を博しております。そのような中、醤油・ごまダレをベースとした「うどん」を現地消費者へどのように伝え販路拡大に結びつけ

るか、昨年実施した内容の反省を踏まえ取組みました。

試食販売は、秋田・山形両県のうどんの食べ比べ、タレも両県の違いを感じてもらい、自分の好みを選んでもらうよう取組みました。また、稲庭うどんの和紙包装が、昨年は中身が見えないことで売上げに影響があったため、試食時に商品の中身を見せ、リーフレットを活用しながら、積極的な提案をおこない販売拡大につなごうとしました。

イートインは、最初に秋田 or 山形のうどんを選択してもらい、次にメニューは温かいうどん3種類（肉・山菜おろし・海老かき揚げ）から選択、値段はすべて1杯250バーツ（約875円）で販売しました。

昼食・夕食時、土日はコンスタントに注文が入り「本場のうどん」を堪能してもらうことができました。

うどん以外に秋田県産お菓子等

の販売もおこない、甘い物を好むタイ人に、かりんとう、あげまんじゅうは高く評価され、「かたちの美しさ」や「上品な甘さ」は販路拡大に繋がるものと確認できたところです。

最後に今回のフェアでは、試食販売およびイートインで効果のある発信ができたと思います。引き続き両県のうどんフェアの継続と秋田県産加工食品等も加えた販売促進を行うために現地の仲介業者と連携して取り進めてまいります。



▲ サイアムパラゴンでのフェアの様子

ミッション派遣・現地調査



ミャンマー 経済ミッション派遣

平成29年11月26日～11月30日

11月26日から30日に渡り、齊藤会長、大島副会長、鈴木副会長、事務局職員でミャンマー経済ミッションを派遣しました。滞在期間中は、在ミャンマー日本国大使館とジェットロヤンゴン事務所を表敬訪問し、ミャンマーの基本情報や経済概況に関する説明を受けました。また、ヤンゴン市内企業訪問やアウンサンマーケット視察を通じ、現地事情を学びました。更に、近郊の視察によりミャンマーの実情を肌で感じてきました。

中国・インド二大国と接している地理的優位性を持ち、天然ガス・原油・鉄・翡翠・チーク材等

資源も豊富であり、壮大な仏塔などの観光資源も多々あるミャンマーはアウン・サン・スーチーさん率いるNLDのもと、着実に成長しています。

また最近、1世紀ぶりの新しい会社法ができ、従来は外国人が1株でも保有する会社は外資規制の対象でしたが、新法では外資出資比率が35%までなら規制対象外となるとのことで、これにより、外国企業の投資環境が改善すると考えられます。

一般に、世界のどの国、地域とビジネスを始める場合にも、長期的展望を見据え、それに向かって

努力を重ねること、即ちビジョンとハードワークが大切ですが、ミャンマーへの将来の取引拡大も、協会としてしっかりサポートしていきたいと思います。



▲ ジェトロヤンゴン事務所でのブリーフィング



中国

上海 事前調査団派遣

平成29年10月29日～11月1日

10月29日からの4日間、大島副会長、鈴木アドバイザー、事務局職員の3名が秋田県産品の販路開拓、課題等を探るため中国上海を訪れました。上海は人口2,500万人、中国最大の商工業都市です。激戦区とは言えマーケットとして申し分なく、上海日本国総領事館、ジェットロ上海事務所、現地貿易会社との意見交換や、百貨店、小売店、レストラン等の市場調査を行いました。

日本からの農林水産物輸入額は着実に増加しており、日系百貨店の食品売り場にはあらゆる日本食が並んでいます。中国の日本食レストランは23,000店以上（2年で倍増）、うち上海は3,000店。見た目、味ともに国内と遜色なく、秋田県の特産品と言える日本酒需要も伸びています。今後



▲ 稲庭うどん 無限堂上海店

は、上海で受け入れられる秋田県産品を選定し、バイヤー招聘、見本市出展、展示商談会開催等を視野に入れ、具体化を検討します。

なお、12月に現地貿易会社が来県し、いくつかの酒蔵を視察しました。現在交渉中の案件もあり、今後の進展を期待しています。

秋田県商業貿易課主催

天津 県内経済団体交流視察団への参加

平成29年11月13日～11月17日

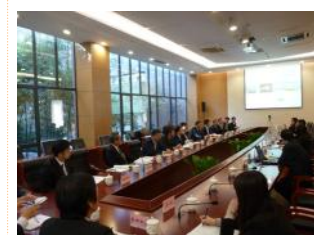
11月13日からの5日間、中国天津市との経済交流および貿易促進のため、秋田県と県内経済団体からなる交流視察団が派遣されました。天津は人口1,500万人、高層マンションや商業ビルが立ち並び、道路幅は広く、自動車、バイク、自転車と人々で活気に満ち溢れています。平成22年「友好交流合意書」、平成24年「友好協定締結協議書」の締結以降交流が続いており、この度の副市長との会談や市政府との交流会等により、一層の友好親善がはかられました。

天津では自由貿易試験区、天津港およびクルーズ船発着所の視察や現地企業を訪問。また北京では、ジェットロ北京事務所や現地のハイテク企業を訪問。それぞれ、経済動向や投資環境等に関する意見交換を行い、特に

「アリペイ」「ウィーチャットペイ」等のスマートフォンによるモバイル決済やインターネット通販による国際的な電子商取引「越境EC」など、中国ビジネス最前線とそのスケール、スピードを肌で感じることができました。



▲ 天津市副市長との会談



▲ 天津市自由貿易試験区意見交換

秋田市からの委託事業

秋田市委託事業として、10月19日から24日まで、日本食品の需要が高いタイに対し秋田産品の販路を開拓拡大すべく、「バンコク・秋田フェア」を、秋田酒造(株)、秋田十條化成(株)の参加を得て実施しました。

バンコクでは、秋田県人会(露の会)菊地会長を表敬訪問し、多くのアドバイスをいただくことが出来ました。また、バンコク事務所の訪問と情報交換、現地バイヤー・飲食関係業者等の訪問・面談を行いました。更に今回は、タイ北部最大都市のチェンマイまで足を延ばし、テストマーケティング施設のジャパンヴィレッジを見学し、バンコクに次いで秋田産品の販路拡大の可能性も検討して



タイ・バンコク 秋田フェア開催

平成29年10月19日～10月24日

きました。

秋田県出身の青澤さんが経営するレストランサラディーで開催したフェアでは、全出展商品とも好評でしたが、今回も秋田十條化成(株)の華まいたけが来場者に大人気でした。また、出品した日本酒は各々個性があり美味しいといずれも好評でしたが、特に大吟醸酔楽天は抜群の人気で、高い評価を頂きました。

秋田フェアは、出展企業やバンコク事務所、バンコク秋田県人会の方々の御協力のもとで成功裡に終わることができました。

タイにおける更なる県産品の販

路拡大のため、今後も協会として各機関と連携しトライを重ねつつ、着実にトライアンドサクセスに繋げていきたいと考えています。



▲タイ・バンコクのレストランでの秋田フェア

秋田市からの委託を受け、11月13日から17日まで、秋田産食品の販路開拓・拡大のため、日本食品の需要が高まっているベトナム・ホーチミン市において市場調査を実施しました。

調査には企業4社と市役所職員が同行し、日系の商社、百貨店、スーパー、現地の流通業者など併せて6社などを訪問し、日本食品の販売動向等の把握に努めました。

秋田産食品についての評価ですが、いくつかの商品については興味を持つ業者がありました。価格が課題であることも明らかになりました。また、現地生産を求め声もあり、貿易に止まらないニーズを知ることができました。テスターにベトナムからの留学生を活用して、ベトナム人の嗜好にあった商品開発が必要との提言も受けました。

ベトナムは人口9,000万人を超



ベトナム・ホーチミン市場調査の実施

平成29年11月13日～11月17日

え、平均年齢30歳前後の若い国です。街は日本製オートバイであふれかえり、ものすごい熱気です。10年程度のスパンでみると大変魅力的な市場であると実感しました。スーパーやコンビニでは、日本の大手メーカー品も類似品を含めると比較的容易に手に入ります。しかし、まだまだ平均所得が低く、所得の高い層が多いホーチミン市のコンビニでも、円換算200円を超える商品はなかなか売れないようです。

このようなベトナム市場に対して、国内各地域のアプローチはかなり進んでおり、秋田は最後発であることも今回の調査で知ることができました。今後、秋田産食品の魅力はどう伝えていくか。大きな宿題を与えられた調査でした。



▲現地企業との意見交換

あなたの貿易ビジネス
をサポート!



一般社団法人
秋田県貿易促進協会

ホームページ

<http://www.a-trade.or.jp/>

秋田市旭北錦町1番47号
秋田県商工会館5階

電話：018(896)7366

FAX：018(896)7367

Email：info@a-trade.or.jp

今後実施予定の事業

1月11日～1月16日	マレーシア・クアラルンプール秋田フェア
1月23日～1月29日	フランス・パリ事業フォローアップ
1月30日～2月2日	韓国商談会
2月2日～2月11日	シンガポール「秋田・香川うどんフェア」
3月上旬	秋田県産品輸出促進事業(ベトナム・ハノイ)

※上記スケジュールは変更になる場合がございます。詳しくは事務局までお問合せください。